

## 地域拠点校選定に向けた視察（市内）の報告

## 1. 開催日時

平成 28 年 10 月 3 日（月） 午前 9 時 00 分から 12 時 00 分

## 2. 視察施設

玉縄すこやかセンター（玉縄 5-9-1）

玉縄青少年会館（玉縄 1-2-1）

玉縄中学校（岡本 1 1 0 0）

玉縄行政センター（岡本 2-1 6-3）

玉縄小学校（玉縄 1-8 6 0）

## 3. 視察概要

## （1）玉縄すこやかセンター

玉縄すこやかセンターの志賀野所長の案内により、施設の用途等について説明を聞いた後、見学を行いました。

## （2）玉縄青少年会館

青少年課の瀬谷課長の案内により、玉縄青少年会館及び複合化されている玉縄子ども会館・たまなわ子どもの家を見学しました。

## （3）玉縄中学校

玉縄中学校の越川校長の案内により、玉縄中学校を見学しました。

## （4）玉縄行政センター

玉縄支所及び玉縄図書館を見学した後、教育総務課の朴澤担当課長の案内により、玉縄学習センターを見学しました。

## （5）玉縄小学校

玉縄小学校長である中村委員の案内により、玉縄小学校を見学しました。

## （6）意見交換

玉縄小学校見学の後、玉縄小学校の校長室において、意見交換を行いました。主な意見は以下のとおりです。

## （児童数、学級数について）

- ・過去の児童数の推計では減少する予測であったが、実際にはマンション建設等があり、児童数の大幅な減少はみられない。
- ・昔のように何クラス分も児童数が大きく増えることがないとは思いますが、今後も大規模なマンションなどが整備される可能性があり、児童数の予測が難しい現状がある。
- ・今後、学校施設を整備するにあたっては、1 学年の学級数がどうなるのかを考えていく必要がある。

（平成 28 年 11 月 14 日委員会資料）

**(複合化される学校について)**

- ・第1回の委員会で紹介された保護者アンケートでは、保護者からの反対の意見は少なかったが、アンケートの自由記述を見ると、子どもの安全面を心配する声が多かった。安全への配慮が必要である。
- ・小学生と中学生では体の大きさも違うため、外の人が入ってくることにに対する不安感が大きく違う。小学校を地域拠点校とする場合は、より一層の安全面への配慮が必要である。
- ・学校への複合化に対しては、心配する声先立ってしまうが、整備前には想定していなかった複合化による相乗効果が出てくるとも考えられる。
- ・学校にはある程度、一見無駄ともみえる余裕空間が必要である。
- ・あまり効率化を求めると、余裕がなくなってってしまう恐れがある。

**(地域拠点校に複合化される機能について)**

- ・地域拠点校には老人福祉センター、青少年会館、学習センターや地域図書館の機能が入れられるとのことだが、そのように多くの施設を入れてしまったら、多くの会議室が必要になってしまう。
- ・現状でもなかなか予約を取れない状況にあり、拠点校になった場合、ますます利用しにくくなるのではないかと心配である。
- ・施設ごとに地域コミュニティが形成されていると思われるので、そのつながりが崩れないようにしてほしい。
- ・必要な機能の検討にあたっては、今ある機能について全て書き出してみたいうえで、どの機能は共有できるのかを検討する手法だと思う。
- ・利用者で譲り合うことが必要になるため、地域拠点校の整備に対して反対の声が上がる可能性がある。
- ・みんなで譲り合うことになるが、その譲り合っている状況や複合化されることによるみんなにとってのメリットを透明化し、共有していくことが大変重要である。

**(地域拠点校の整備について)**

- ・各地域拠点校の整備は、各学校の建替え等の時期によるとのことだが、整備に当たっては地域住民の声を聞く機会を設ける必要がある。
- ・校庭の一部を削って、施設を整備するのは望ましくない。今ある施設の規模を大きくするには、上に積むしかないと思う。
- ・鎌倉には規制が多く、階を積める学校は限られている。

**(選定委員会について)**

- ・本委員会は地域拠点校を5校選定するところまでが使命であるが、これまで話したような整備に当たって配慮すべき事項は多く、そのような背景を考えると、選定後どのように展開していくのが重要であると思う。